

## ■操作手順

### ①配管を接続する

注入ホースからのホースを検出器入口に、そして出口からは注入ホースを接続します。検出器は出口側を持ち上げて配管内にエアが溜まらないようにします。

### ②検出部を接続する

付属の信号ケーブル(標準10m)で検出器と記録部を接続します。信号ケーブルは水に浸らないように、また足などを引っ掛けない位置で長さはゆとりを持って引き回します。

### ③電源を接続する

電圧を確認して配電盤に電源ケーブルを接続します。(AC200V)  
背面のアース端子から接地線を接続します。  
電源ケーブルは、ゆとりを持って配線してください。  
水に漬からないようになるべく地面から高い所に布設してください。

### ④関連機器と接続する

1. 遠隔操作信号線を「遠隔操作」に接続します。
2. 切替スイッチ「遠隔」にします。
3. 外部機器信号線を「I/O」に接続します。
4. 信号切替スイッチを「外部」にします。

### ⑤電源を入れる

背面の「ブレーカー」スイッチを上にあげて「入」にします。  
正面パネルの電源「スイッチ」を入れます。  
安定するまで5分以上余裕を見て早めに入れておきます。

## ■設定

### ①圧力ゼロ調整

「圧力ゼロ」を回して合わせる。  
ゆっくり回してペンの動きを見ながら合わせる。  
ペンはゼロで止まって下に行かないので下げすぎないように、ペンがちょうど上がり始める所で止めます。

### ②流量ゼロ調整

配管内に注入液等を十分流してエア抜きをしたらポンプを止める。  
注入ホース先端から流出していないのを確認して「流量ゼロ」を回して合わせる。  
流量ゼロでパネルのLEDが点滅する。  
ペンはゼロで止まって下に行かないので下げすぎないように、ペンがちょうど上がり始める所で止めます。

### ③記録計の確認

記録計の電源が入っているのを確認する、チャート紙が十分入っている事を確認する。  
終了近く(残り約40cm)になるとチャートの端に終了マークが出る。